

生徒会活動と環境学習を連動させて実践力を育む

文部科学大臣賞 岩手県 盛岡市立下橋中学校

盛岡市内中心部を流れる清流、中津川沿いにそびえる同校は、明治 20 年に創設された岩手県内で最も古い歴史ある伝統校だ。昭和 28 年の青少年赤十字加盟以来、「気づき・考え・実行する」精神が受け継がれており、地域の美化やリサイクル活動に深く結びついている。中でも、盛岡さんさ踊り期間に行われる「区内合同清掃」活動は、住民や近隣の小学校と連携して取り組む一大行事で、昨年は 500 名余りが参加。どうすれば自分たちの地域がきれいであることを観光客にアピールできるか、生徒会の組織の一つである地区生徒会が中心になって、関係団体と数回の打ち合わせを経て実施する。

住民や小学校への清掃協力依頼は、生徒で結成されたつなぎ隊というグループが直接訪問して呼びかけるなど、積極的に地域と交流の機会を設けているのが特徴だ。また、進んで落ち葉掃きをしたり、カラスによるゴミの散乱を生徒が率先して片づけたりと、自主的に取り組む姿勢が培われており、小学生の良い手本になっている。リサイクル活動も活発で、3R にリフューズを加えた 4R を推進、環境を思いやる心が育まれている。

同時に、「SHEL 学習」と称した総合的な学習の時間では、学年ごとに環境への理解を深める授業を展開。毎年実施しているエコシンポジウムでは、生徒会の組織であるエコ委員会活動と連動させながら、環境テーマを決めて取り組んでいる。

住民の阿部价男（よしお）さんは、「地域の美化活動に熱心なだけではなく、環境問題について新聞に投稿する生徒さんもおおり、行動力に長けている様子がうかがえます。環境に対する意識付けが普段からなされているからでしょう」と感心する。

石川啄木、金田一京助などの著名人を輩出したことでも知られる同校。各界で活躍した先人の生き方は、これらの活動をコツコツと継続していく上で生徒の大きな励みになっている。



岩手県盛岡市立下橋（しものはし）中学校

学校長：小岩 和彦

生徒数：300 名(2014 年 11 月末現在)・全 12 学級

住所：岩手県盛岡市馬場町 1-1

電話：019-623-4337

アクセス：「盛岡」駅より徒歩約 20 分

写真上：区内合同清掃で空き缶などを回収の様子、写真上から 2 番目：部活動単位で実施する美化活動、写真上から 3 番目：環境をテーマに開催されるエコシンポジウム、写真下：地域行事に参加する生徒